

コーポレート・ガバナンス

WEB コーポレート・ガバナンス



<https://www.sanden.co.jp/csr/disp.cgi?mode=detail&id=1>

基本的な考え方

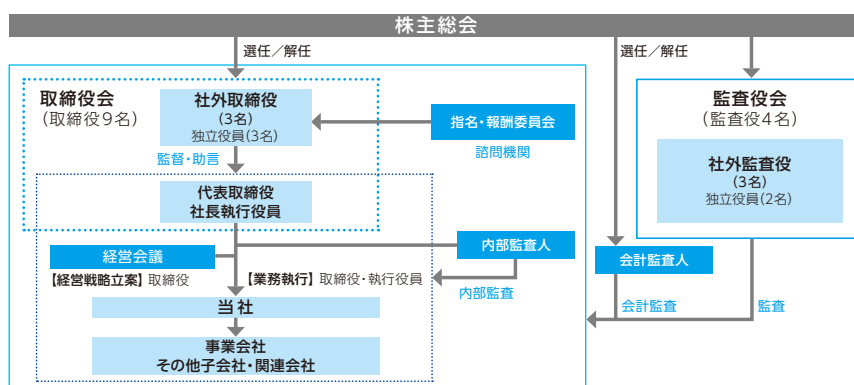
当社グループにおいては、1943年の創立以来、創業の精神である「知を以て開き 和を以て豊に」が、企業文化として脈々と受け継がれています。また、2003年に制定した「国際社会の中で共感する普遍的な価値観」および「ステークホルダーに対する基本姿勢」で構成される「企業理念」は、当社グループ全体に浸透されており、この「企業理念」のもと、経営の公正性、透明性、効率性等の経営品質を向上させるといった観点からコーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいりました。

当社グループは目指すべき姿である「環境と快適が調和する豊かな社会の実現のために、時代を切り拓き続け、全ての人々から信頼される企業になる」を掲げ、この実現を目指し、中期経営計画を着実にやり遂げ、新たな企業価値を創造してまいります。

コーポレート・ガバナンスの取り組み

当社は監査役設置会社であり、取締役会、監査役・監査役会、会計監査人を設置しています。

取締役会を構成する取締役の人数は9名で、そのうち3名、3分の1を社外取締役とする体制をとっています。この体制により、経営者の説明責任を担保するとともに、監督機能の強化およびガバナンスの客観性・独立性の確保が期待されています。



コンプライアンス

WEB コンプライアンス



<https://www.sanden.co.jp/csr/disp.cgi?mode=detail&id=2>

基本的な考え方

昨年も多くの企業で不祥事が発生しました。コンプライアンスへの取り組みなくして企業の社会的責任は果たせないとの認識のもと、サンデングループでは、全ての役員および社員が順守すべき普遍的な考えとして「企業理念」を定めています。グローバルに展開する当社の企業活動において、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付け、社員一人ひとりが高い倫理観を持って、国際社会や地域社会から信頼される企業として発展し続けることを目指して活動しています。

当社グループでは、コンプライアンスに関する様々な取り組みを進めています。

コンプライアンスへの取り組み

サンデングループはグローバルでのコンプライアンス体制強化のためコンプライアンス規程の改定を行い、当社グループにおいてコンプライアンスに関する問題が発生した場合、総務法務本部に直接報告が上がる体制に変更いたしました。また、重要案件は経営会議・取締役会に諮ることとしています。海外派遣の法務人員とコンプライアンスのグローバル構築に向け、より一層の連携強化が図れるようにしました。

コンプライアンス体制

